



学校だより

加戸の丘 R5

教育目標「よく学び よく働き よく遊ぶ」

坂井市立加戸小学校

第7号

【全国学調分析特集】

令和5年10月16日

令和5年度 全国学力・学習状況調査・・・本校の結果分析（概要）

4月18日(火)に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査については、既に報道で全国の傾向、福井県の状況等が公表されています。本校の結果について分析を行ったところ、以下のような傾向がありました。

※ただし、本調査で測定できるのは、学力の一側面であるということをご承知おきください。

分析結果をもとに、良好なところは更に伸びるように、課題が見られるところは改善できるように、今後も「楽しく分かる授業」を目指して授業の方法や形態などを工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。

教科に関する調査

今年度は、国語と算数の調査がありました。本校の平均正答率(%)は、国語、算数ともに良好で、県平均、全国平均を上回っています。教科、問題ごとに分析すると、以下のようなことが分かりました。

【国語】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○言語についての知識・理解・技能が身に付いています。

○「読むこと」について良好な結果でした。



目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができています。目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることができています。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができています。

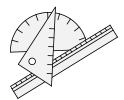
○「短答式」で答える問題について良好な結果でした。

△「話す・聞く能力」「書く能力」について課題があります。

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること
図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

【算数】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○「数と計算」「データの活用」について良好な結果でした。



() を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連づけて読み取ること、加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができています。

示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することができます。

○「選択式」「短答式」の問題形式で良好な結果でした。

△「変化と関係」に課題があります。

伴って変わる二つの数量の関係で、比例ではないことを説明するために表の中の適切な数の組を用いること、比例の関係にあることを用いて知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。

令和5年度 全国学力・学習状況調査・・・本校の結果分析（概要）

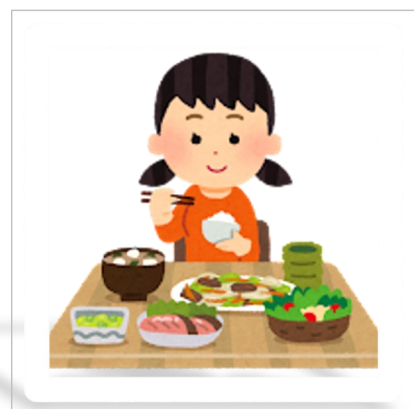
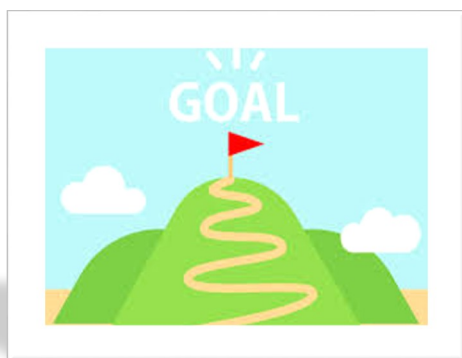
生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○朝食を毎日食べていたり、起床時刻がほぼ決まっていたりといった基本的な生活習慣が身に付いています。

○人の役に立ちたいと願い、進んで働こうとしています。

○「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「読書は好き」「今住んでいる地域の行事に参加している」と答える児童が多いです。（県平均・全国平均と比べて）

△「自分にはよいところがある」「人が困っているときは進んで助けている」と答える児童が少ないです。（県平均・全国平均と比べて）



よりよい学びのために

- ①朝のスピーチなどを活用して、聞く力の向上や他者の意見を聞いて自分の考えを生み出す力の向上を目指します。
- ②調べ学習の時間やまとめの時間には、自分の考えがよりわかりやすくなるような資料を使うことを伝え、定期的に活動を計画します。
- ③多くの情報から判断に必要なものを取捨選択できる力の向上を目指し、今よりも少し高いレベルの問題に取り組む機会を作ります。
- ④算数において、理由を説明する場面には、穴埋めや型の利用など、個に応じた必要な支援ができるように、授業を計画します。
- ⑤比例、反比例の学習において、どのような関係にあるのかを判断する問題に取り組み、説明できることを目指します。

